

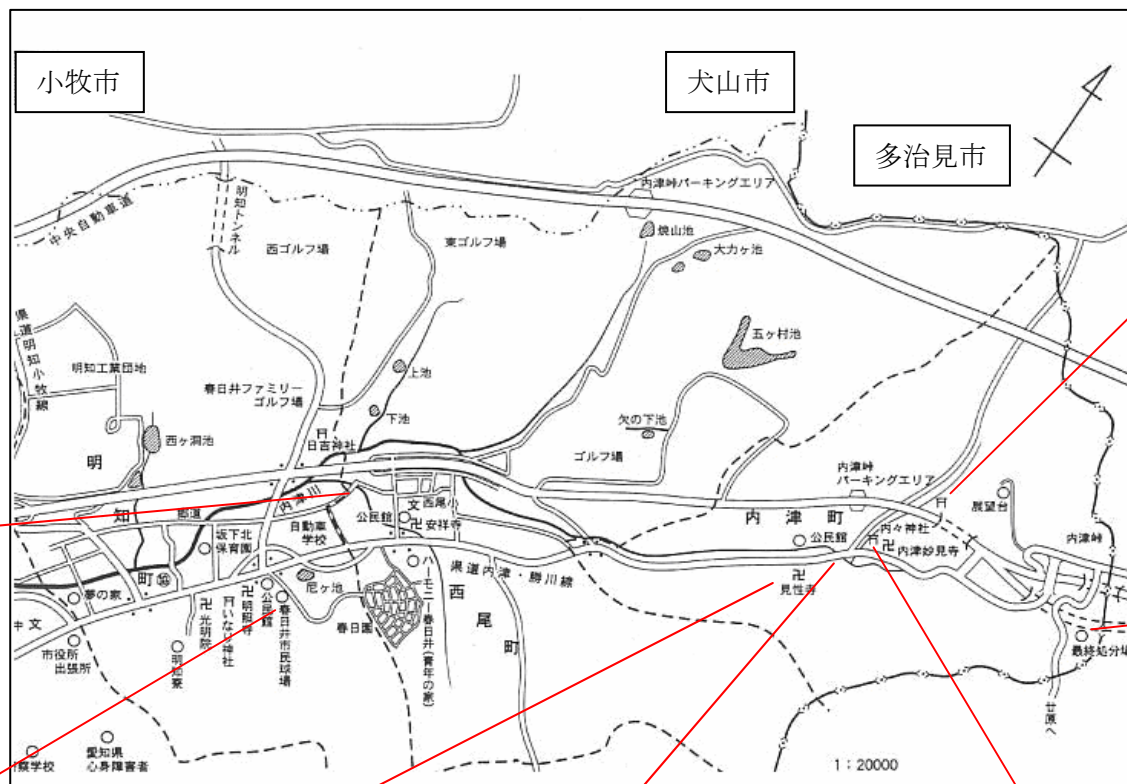
さいおしょう
西尾小 校区紹介



イチヨウの老木



春日井市の保存樹中最大の木だそうです。根元には社があります。HPの「時間の輪」でも紹介されています。



内々神社 奥の院入り口



ここから登ると、大きな岩の割れ目に小さな社があります。内々神社の起こりと言われていました。「妙見宮由緒書」によれば、熱田神宮よりも古いこととなります。

最終処分場

春日井市のごみが処理されて、ここに埋められます。

春日井市民球場



昭和五十六年にオープンしました。公式試合ができる本格的な野球場です。高校野球の予選も行われます。

けんしょうじ
見性寺



天文二年に開かれ、俳人の横井也有が滞在し、七言絶句を残しました。石像と句碑（右下）があります。

したかいどう
下街道の面影



内津は、勝川、坂下とならぶ宿場でした。かつては旅籠がならび、にぎわっていたということです。下街道は、名古屋と中山道を結んでいました。この先に内津峠（うつつとうげ）があります。

うつつじんじゃ
内々神社と庭園



景行天皇四十一年創建の大変古い神社（「妙見宮由緒書」）です。ヤマトタケルの「ああ現哉（うつつかな）」という嘆きの言葉が神社の名前の由来となっています。この地区の「西尾」「明知」という地名もヤマトタケルが由来となっており、本校の校章のデザインもヤマトタケルにちなんで作成されたと聞いています。本殿のうらには夢窓疎石の作と伝えられる庭園（右）があります。